

# 第10回 ヨウ素学会シンポジウム プログラム

日 時 : 平成19年11月16日(金) 9:30~16:55、17日(土) 9:00~12:30  
 場 所 : 千葉大学けやき会館(16日)千葉大学自然科学研究科棟大会議室(17日)  
 主 催 : ヨウ素学会、千葉大学  
 共 催 : (社)日本化学会、日本ヨード工業会  
 協 賛 : (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、(社)千葉県製薬協会  
 (社)千葉県産業振興センター、千葉工業大学 技術・情報センター

## (1日目プログラム)

< 部:講演 > けやき会館1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
部					
	9:30~9:50	挨拶、 基調講演	ヨウ素学会発足にあたって	小倉克之	ヨウ素学会会長
部(座長:東郷 秀雄)					
	9:50~10:05	一般講演	ヨウ素と芳香族化合物を用いるジアリールヨードニウム塩の直接合成	北村二雄	佐賀大学
	10:05~10:20	一般講演	四ヨウ化チタンによって促進される2-オキシムアジリジンの還元的アザ-アルドール反応	八谷 巖	三重大学大学院
	10:20~10:35	一般講演	ヨードチロニン脱ヨウ素化酵素の作用機序に関するモデル研究	後藤 敬	東京工業大学大学院
部 ポスター発表ショートスピーチ(座長:小倉克之)					
	10:40~12:00				

< 部:ポスターセッション > けやき会館3Fレセプションホール

*時 間: 展示(12:00~14:10).....発表と質疑(12:30~14:10)	
A 一般	発表件数: 物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等 資源、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等 利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)
W FIUワーキンググループ	発表件数: 生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構
併設展示	ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器の展示

< 部~ 部:講演 > けやき会館1F大ホール

	14:20~14:30	表彰式			
部(座長:三井 均)					
No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	14:30~15:20	受賞講演	超原子価ヨウ素に魅せられて25年:有機化学史上最も優れた酸化剤	落合正仁	徳島大学
部(座長:大野 満男)					
	15:20~15:35	一般講演	様々な地域で採取した温泉水および地下水中のヨウ素濃度とその起源	村松康行	学習院大学
	15:35~15:50	一般講演	メタンハイドレート層に存在する高ヨウ素濃度を持つ鹹水とその起源	Udo Fehn	University of Rochester
部(座長:原 正治)					
	15:50~16:05	一般講演	t-BuOIを用いるオレフィンとアミドからの直接的オキサゾリン合成	南方聖司	大阪大学大学院
	16:05~16:20	一般講演	ヨウ素と分子状酸素を活用する光酸化反応	中山 弘基	岐阜薬科大学
部(座長:福澤 弘)					
	16:20~16:55	招待講演	わが国のヨウ素工業の発達と新たな取り組み	佐久間昭	合同資源産業(株)
17:10~19:00 懇親会(けやき会館レセプションホール)					

## (2日目プログラム)

< 部:講演 > 自然科学研究科棟大会議室

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00~9:05	挨拶	海宝龍夫		関東天然瓦斯開発(株)
部(座長:落合 正仁)					
	9:05~9:40	招待講演	New Iodine( ) Oxidizing Reagents for Organic Synthesis	V.Zhdankin	University of Minnesota Duluth
	9:40~10:15	招待講演	Efficient and General One-Pot Synthesis of Diaryliodonium Triflates: Scope and Limitations	B.Olofsson	Stockholm University
(10分間休憩)					
部(座長:海宝 龍夫)					
	10:25~11:00	招待講演	Hypervalent Iodine Reagents: Synthesis and Catalysis	T.Wirth	Cardiff University
	11:00~11:35	招待講演	Hypervalent Iodine Chemistry in Phenol Dearomatization Processes	S.Quideau	University of Bordeaux
部(座長:北村 二雄)					
	11:35~12:25	受賞講演	超原子価ヨウ素化学の新展開とグリーンケミストリー	北 泰行	大阪大学
12:25~12:30 挨拶					

講演時間には、質疑応答の時間5分を含みます。

# ポスター発表プログラム <一般 A, FIU ワーキンググループ W>

会場：千葉大学けやき会館(3Fレプションホール) - 開場 12 時 00 分 発表と質疑 12 時 30 分 ~ 14 時 10 分

No.	発表タイトル	発表者・研究者	所属団体
A01	新規触媒的5価ヨウ素酸化反応を用いるキノン類の合成	矢倉隆之、山内優、大本真徳、小西達也	富山大院・薬
A02	キシログルカン - ヨウ素複合体の錯形成能に及ぼす温度の影響	小林威博 <sup>1</sup> 、三島佳史 <sup>1</sup> 、内田勝美 <sup>1</sup> 、矢島博文 <sup>1</sup> 、湯口宜明 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 東理大・理、 <sup>2</sup> 大阪電通大・工
A03	アルキニルヨードニウム塩へのチオラートイオンの付加反応を利用したアルケニルカルベノイド種の発生	下馬場智、カントウ、原正治	北大院・工
A04	フルオロアルケニルヨードニウム塩を利用したフルオロアルケニルボランの立体選択的合成	カントウ、吉田雅紀、原正治	北大院・工
A05	IF <sub>5</sub> によるアグマケル類のフッ素化	原正治	北大院・工
A06	IF <sub>5</sub> による部分的なポリフッ素化反応	原正治、福原彊、阿由葉慎市	北大院・工
A07	3価のヨウ素反応剤を用いるベンジル位酸化的ラクトン形成反応の開発	土肥寿文、後藤章広、武永尚子、北 泰行	阪大院・薬
A08	ヨウ素と1-エチル-2-(2-メチルチオエチル)ベンゼン類の反応によるヨードナフタレンの合成	松本祥治、木村真人、小倉克之	千葉大院・工
A09	E-及びZ-ピニル-3-ヨードンのピニル位S <sub>N</sub> 2反応	宮本和範、廣部雅也、落合正仁	徳島大院・薬
A10	全気相型化学ヨウ素レーザーの開発	増田泰造 <sup>1</sup> 、内山太郎 <sup>1</sup> 、中村智也 <sup>2</sup> 、遠藤雅守 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 慶應大・理工、 <sup>2</sup> 東海大・理
A11	溶液および高分子固体化色素増感太陽電池用各種色素の合成と光電変換特性	長尾幸徳、松下圭介、小澤幸三、有光晃二	東理大・理工
A12	新規トリフェニルアミン系ホール輸送材料の合成とそれらを用いた色素増感太陽電池の特性	長尾幸徳、須田宗平、小澤幸三、有光晃二	東理大・理工
A13	キトサン - ヨウ素複合体の抗微生物効果	金賢雄、滝口泰之、山口達明	千葉工大・工
A14	ヨウ素化合物含浸Ti陽極酸化皮膜の抗菌及び潤滑性	高谷松文、前嶋正受	千葉工大・工
A15	新規常圧有機超伝導体(DIETSe) <sub>2</sub> [Au(CN) <sub>4</sub> ] <sub>2</sub> の合成と性質	今久保達郎、白旗崇、木船愛、吉野浩子	理研
A16	ヨウ素効率のよい、連続したラジカル付加反応の開発	矢島知子、Jahan Ishrat、殿井貴之、山口佳菜子、永野肇	お茶女大・理
A17	フルオロアルキリデンカルベンを利用した含フッ素5員複素環化合物の合成	竹村紘平、カントウ、吉田雅紀、仙北久典、原正治	北大院・工
A18	水溶液中におけるヨウ素-β-シクロデキストリン包接体構造解析	金子拓真 <sup>1</sup> 、上田昌樹 <sup>1</sup> 、永松伸一 <sup>2</sup> 、小西健久 <sup>2</sup> 、藤川高志 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 千葉大院・自、 <sup>2</sup> 千葉大院・融
A19	ヨウ素を触媒として用いたアリルアルコール類からのエーテル類の合成	笠嶋義夫 <sup>1</sup> 、村上恵子 <sup>2</sup> 、佐々木達洋 <sup>2</sup> 、西田忠輔 <sup>2</sup> 、三野孝 <sup>2</sup> 、坂本昌巳 <sup>2</sup> 、藤田力 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 千葉工大・工、 <sup>2</sup> 千葉大院・工
A20	水溶性アミノ化キトサンとヨウ素との錯形成およびその物理化学的特性	石黒 梓、三木麻理子、三島佳史、内田勝美、矢島博文	東理大院・理
A21	親水性高分子-ポリヨウ素コンプレックスを利用したコンポジット調整法[ ]	川口昭夫 <sup>1</sup> 、後藤康夫 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 京大・原子炉、 <sup>2</sup> 信州大・繊維

No.	発表タイトル	発表者・研究者	所属団体
A22	ヨウ素を用いたセルロース系高分子からのフィルム状炭素体の作製	石川直人 <sup>1</sup> 、宮嶋尚哉 <sup>1</sup> 、阪根英人 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 山梨大院・医工、 <sup>2</sup> 山梨大・機器分析センター
A23	SmI <sub>2</sub> を用いた 1,3-ジハロプロパン類のラジカル 3- <i>exo-tet</i> 環化による 3 員環構築反応	大来田 剛、東郷秀雄	千葉大院・理
A24	ヨードベンゼンを触媒とした <i>m</i> CPBA による <i>N</i> -メトキシ-2-アリアルエタンスルホンアミドの環化反応	諸田敦、東郷秀雄	千葉大院・理
W01	ICP-MS法を用いた降水および雪に含まれるヨウ素の分析	小池晋一郎 <sup>1</sup> 、村松康行 <sup>1</sup> 、山本征生 <sup>1</sup> 、 柏木祐 <sup>1</sup> 、本山秀明 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 学習院大、 <sup>2</sup> 国立極地研
W02	「一ヶ月間のヨウ素摂取状況調査」 ～女子大学生の食事調査から～	塚田信、浦川由美子	鎌女大
W03	昆布の茹で調理によるヨウ素の溶出について	伊藤正江、河合清	中京女子大・栄養科学
W04	ヨード卵の 2 型糖尿病に対する有用性評価	横山次郎 <sup>1</sup> 、下川雅信 <sup>2</sup> 、富岡みゆき <sup>2</sup> 、 井上肇 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 日本農産工業株、 <sup>2</sup> 聖マリアンナ医科大
W05	海藻のヨウ素蓄積機構に関する研究：各種海藻のハロペロオキシダーゼ活性とヨウ素含量	山下和洋、五十嵐爾子、藤本典久、 山本淳、横山雄彦、菅野信弘	北里大・水
W06	培養液中のヨウ化物イオンが数種蔬菜の生育およびヨウ素蓄積に及ぼす影響	<sup>1</sup> 船井リマ、 <sup>1</sup> 篠原温、 <sup>1</sup> 丸尾達、 <sup>2</sup> 山口秀幸	<sup>1</sup> 千葉大・園芸、 <sup>2</sup> 関東天然瓦斯開発株
W07	イネ根圏におけるヨウ素酸イオンの還元	関本 均 <sup>1</sup> 、石川沙雪 <sup>1</sup> 、加藤翔太 <sup>1</sup> 、 吉田 聡 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 宇都宮大・農、 <sup>2</sup> 放医研
W08	ヨウ素ガスを用いた種子の殺菌処理技術に関する研究	山口秀幸 <sup>1</sup> 、寺沢祐一 <sup>2</sup>	<sup>1</sup> 関東天然瓦斯開発株、 <sup>2</sup> カネコ種苗株
W09	Application of a Novel Iodine Disinfection System for Agricultural Sectors	J.Franks <sup>1</sup> , H. Yamaguchi <sup>2</sup> , T. Kaiho <sup>2</sup>	<sup>1</sup> IOTEQ IP Pty Ltd., <sup>2</sup> 関東天然瓦斯開発株
W10	土壌のヨウ素吸着能と土壌中ラッカーゼ活性の相関性	及川純一、天知誠吾、藤井貴明	千葉大院・園芸

17:10～19:00	懇親会（けやき会館3Fレセプションホール）
-------------	-----------------------